

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（都道府県名：福島県）

（福島県 平成22年度）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 <small>（対象作物・畜種等名）※1</small>	政策目標	成果目標の具体的な内容 <small>（内容）</small>	事業実施後の状況 <small>（内容）</small>						事業内容 <small>（工種、施設区分、構造、規格、船名等）</small>	事業費 <small>（円）</small>	負担区分 <small>（円）</small>				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
							計画時（平成18年）		1年後（平成19年）		2年後（平成20年）				3年後（平成21年）		達成率	交付金					都道府県費	市町村費	その他
							計画時（平成18年）	1年後（平成19年）	2年後（平成20年）	3年後（平成21年）	計画時（平成21年）	達成率													
国見町	伊達みらい農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	（土地利用型作物・水稲種子）	生産性の向上	水稲種子生産に使用する労働時間を25.1%削減	37.56 h/10a	40.88 h/10a	19.30 h/10a	25.07 h/10a	28.14 h/10a	132.5%	種子生産に要する労働時間が33.3%削減された。	種子種苗生産関連施設1式	260,400,000	124,000,000	0	0	136,400,000	平成19年8月31日	新設設備を活用することで種子生産に要する労働時間及び生産コストの削減目標を達成することができた。	種苗施設の整備によって高品質種子の安定生産が可能となり、当地の米づくりの品質向上に寄与している。			
二本松市	上ノ内機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	（土地利用型作物・水稲）	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量が23%以上削減	1.3 t/10a		1.1 t/10a	1.0 t/10a	1.0 t/10a	100.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が23.1%削減された。	共同利用機械 田植機6条 植えロータリー1式 1台	2,371,950	700,000	0	0	1,581,950	平成20年3月24日	ロータリー式田植機を導入したことにより、燃油使用量が従来より23%削減された。これにより生産費が抑制され所得の確保につながった。	燃油使用量の抑制により生産農家の所得の向上につながった。また、余剰労働時間を活用した他作物の栽培による農業所得の向上が期待される。			
二本松市	農事組合法人 梨子ホライスセンター	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	（土地利用型作物・水稲）	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量が17%以上削減	17.2 t/10a		14.3 t/10a	15.2 t/10a	14.3 t/10a	69.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が11.6%削減された。	乾燥調製施設 (遠赤外線乾燥機50石) 1台	3,171,000	1,585,000	0	0	1,586,000	平成20年3月18日	21年度は刈取り時の水分量が多い上、運営費削減のため全体の作業を一定の期間内に終える必要があり、水分量が多い場合でも刈取を行なう状況があったため目標値達成に至らなかった。今後は全体の作業期間に余裕を持たせ、刈取りのタイミングを適宜調整できるようにする。	遠赤外線乾燥機導入の成果は確実に現れており、当該施設の運営費を抑えることができている。今後は目標達成に向け刈取適期を見極めた上での計画的な乾燥調製を指導していく。			
二本松市	杉内仲組 業落営農組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	（土地利用型作物・水稲）	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量が17%以上削減	11.3 t		10.5 t	9.4 t	9.4 t	100.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が16.8%削減された。	乾燥調製施設 (遠赤外線乾燥機25石) 1台	1,272,600	636,000	0	0	636,000	平成20年3月19日	遠赤外線乾燥機を導入したことにより、燃油使用量が16.8%削減することができた。	本事業によって当地に省エネルギー化の推進体制が確立されつつある。今後は確立された体制の維持・発展に努める。			

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜産等名)①	政策目標	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、地域区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の詳細	経過状況の評価	備考
							計画時(平成18年)	1年後(平成19年)	2年後(平成20年)	3年後(平成21年)	目標値(平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
浅川町	染水 稲直播組合	農地競争力の強化	農地競争力の強化に高じた総合的推進	(土地利用型作物・水稲)	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量19%以上削減	0.6 0/10a	0.6 0/10a	0.6 0/10a	0.6 0/10a	0.6 0/10a	100.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が25.0%削減された。	共同利用機械 兼用水稲直播機(6条条播側条施肥機付き) 1台	2,073,750	1,036,000	0	207,000	830,750	平成20年3月26日	導入した直播機を運用することで作業時間が短縮され、高い燃油効率を達成することができた。	今後も直播栽培を推進することで、燃油使用量削減や労働時間の短縮、水稲直播栽培面積の拡大が期待される。	
西郷村	真船 直播栽培組合	農地競争力の強化	農地競争力の強化に高じた総合的推進	(土地利用型作物・水稲)	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量11.8%以上削減	5.3 0/10a	4.6 0/10a	4.6 0/10a	4.6 0/10a	4.6 0/10a	100.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が13.2%削減された。	共同利用機械 水稲直播栽培用播種機(トラクター取付型点播機9条) 1台	1,978,725	989,000	0	197,000	792,725	平成20年3月31日	導入した直播機を運用することで燃油使用量の削減と省力化が図られた。今後も農業機械の共有と協業化を図り低コスト農業を実践する。	本事業によって当地に省エネルギー化の推進体制が確立されつつある。収穫も問題なく、順調に推移している。今後は水稲直播栽培面積の拡大を推進し、導入機械の更なる活用を促したい。	
西郷村	白河 農業協同組合	農地競争力の強化	農地競争力の強化に高じた総合的推進	(土地利用型作物・水稲)	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量11.3%以上削減	5.2 0/10a	4.6 0/10a	4.6 0/10a	4.6 0/10a	4.6 0/10a	100.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が11.5%削減された。	共同利用機械 水稲直播栽培用播種機(トラクター取付型点播機9条) 1台	1,890,000	900,000	0	0	990,000	平成20年3月31日	導入した直播機を運用することで作業時間が短縮され、高い燃油効率を達成するとともに、水稲直播栽培面積の拡大にもつなげることができた。	燃油使用量の削減目標を達成することができた。収量も水田除草管理機を導入したことで改善され、順調に推移している。今後は水稲直播栽培面積の拡大を推進し、導入機械の更なる活用を促していく。	

市町村名	事業実施主体名	取組の分類	取組の目的	作物等区分(1)	政策目標	成果目標の具体的な内容(1)	事業実施後の状況(1)					達成率	成果目標の具体的な内容(2)	事業内容	事業費(円)	農協区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	推進者の評価	備考
							計画時(平成18年)	1年度(平成19年)	2年度(平成20年)	3年度(平成21年)	目標値(平成21年)					交付金	経道府県費	市町村費	その他				
矢吹町	東西しらかわ農業協同組合	農地競争力の強化	農地競争力の強化に向けた総合的推進	(土地利用型) 作物・水稲	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量が18%以上削減	1.0 t/10a	1.07 t/10a	0.93 t/10a	0.8 t/10a	35.0%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が7%削減された。	共同利用機械 水稲直播栽培用播種機(兼用8条)1台	3,339,000	1,590,000	0	318,000	1,431,000	平成20年3月26日	目標に及ばなかったが、一定の効果を確認でき、次年度への足がかりができた。播種後の雑草の繁茂や鳥害被害により、直播栽培に取り組み農家が減少してしまっただけで、導入機械の効率的な運用を妨げている。今後は省エネマニュアルの徹底と併せて、新規需要米等への直播機活用を呼びかけ及び直播栽培技術の普及啓発に努めることで稼働面積を拡大し、目標達成を図りたい。	直播直後の雑草の繁茂及び鳥害被害が大きく、20年度以降取り組む農家が減少してしまっただけで、生産面積が大幅に減少してしまっただけで、スケールメリットによる燃油低減効果の発現が低下した。今後は、目標達成に向け直播生産技術の指導を徹底し水稲直播栽培面積の拡大に取り組んでいく。		
鮫川村	東石ライスセンター	農地競争力の強化	農地競争力の強化に向けた総合的推進	(土地利用型) 作物・水稲	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量が12.3%以上削減	1.21 t/10a	1.09 t/10a	0.87 t/10a	1.06 t/10a	226.7%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が28.1%削減された。	共同利用機械 田植機(6条)1台 旋回ロータリー1台	2,035,845	678,000	0	0	1,357,845	平成20年度3月28日	導入した高速田植機を活用したことで、目標作業の燃油低減が図られ燃油使用量が28.1%削減された。	大幅な燃油使用量削減に成功したことで、生産農家の所得の向上につながることができた。		
喜多市	喜多方刈取センター	農地競争力の強化	農地競争力の強化に向けた総合的推進	(土地利用型) 作物・水稲	生産性の向上	農業機械等の利用に係る燃油使用量が14%以上削減	小麦 2.5t/10a 大豆 2.1t/10a ソバ 1.3t/10a	小麦 2.46t/10a 大豆 2.0t/10a ソバ 1.24t/10a	小麦 2.33t/10a 大豆 1.95t/10a ソバ 1.22t/10a	小麦 2.15t/10a 大豆 1.81t/10a ソバ 1.12t/10a	48.6% 51.7% 44.4% 平均達成率 46.2%	農業機械等の利用に係る燃油使用量が小麦6.8%、大豆7.1%、ソバ6.2%削減された。	共同利用機械 汎用コンバイン(98ps)刈取幅2.06m 1式	10,710,000	3,570,000	0	571,000	6,569,000	平成20年3月31日	小麦、大豆、ソバ、それぞれの圃場が分散しており、効率的な刈取り作業が行えないことやコンバインの導入しづらい土地での作付によるコンバインの自走距離の延長が燃油使用量の低減を妨げている。今後は圃場間の自走距離の短縮のため、圃場化を推進していきたい。	昨年度より達成率は向上しているが、目標値には届かなかった。これは、各圃場間に距離があり、コンバインの自走距離が伸びてしまったことが原因と考えられる。今後は、点検等による燃油使用量の削減に併せて、効率的な圃場化による圃場間の自走距離の短縮化等も積極的に実施し更なる燃油使用量の削減を図る。		

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・品種等名)①	政策目標	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規模、総力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	経過評価の評価	備考
							計画時(平成18年)	1年後(平成19年)	2年後(平成20年)	3年後(平成21年)	目標値(平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
伊達市	伊達みらい農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(もも)	生産性の向上	▼【果樹】 ▼全出荷量のうち内部品質に応じて出荷する割合を100%増加	0% (平成18年度)	0% (平成19年度)	100% (平成20年度)	100% (平成21年度)	100% (平成21年度)	100%	・集出荷貯蔵施設 (鉄骨造2階建、選果ライン、センサー設備)	454,220,550	216,295,000	0	0	237,925,550	平成20年3月21日	新たな内部品質センサーの導入で、旧システムより高精度の果実選別による出荷ができた。高糖度品を商標登録するなど新たな販売対策に活用できた。	当初の狙いであった果実内部障害の発見が機能していること、より細かなパッケージ区分による販路の拡大が図られていることなど、有効に活用されている。		
西郷村	養生ライスグローイング	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	耕種作物活用型飼料増産	生産性の向上	▼飼料作物作付面積を620%増加	2.5ha (平成18年度)	14.7ha (平成19年度)	37.2ha (平成20年度)	39.7ha (平成21年度)	18.0ha (平成21年度)	240%	稲発酵粗飼料用ローラー、梱包格納用機械積込機	10,836,000	4,501,000	0	1,032,000	5,303,000	平成19年8月31日	WCS用箱による地域内の水稲転作面積が拡大したほか、稲わら収集により、村内の家畜飼料増産ができた。	作業受託の体制が整備できたことにより、WCS用箱の作付面積及び稲わら収集面積が飛躍的に伸び、地域の自給飼料増産が図られた。また、組織を軸に排渣運搬が進み、地域の畜産振興に大きく寄与している。		